

久喜市の看護師がアフリカで 国際緊急援助活動に参加

～モザンビークにおけるサイクロン被害に対する国際緊急援助隊医療チーム
活動報告～

2019 年 3 月 15 日にモザンビーク国の中北部地方を襲った大型サイクロン (Idai) により被災者 185 万人以上という甚大な被害が生まれました。

モザンビーク国政府の支援要請に基づき、日本政府は国際緊急援助隊 (JDR) を被災地に派遣することを決定し、国際協力機構 (JICA) は医師、看護師らからなる総勢 51 名の医療チームを同国ブジ郡に派遣しました。

この度、医療チーム (二次隊) に看護師として参加された埼玉県済生会栗橋病院の吉田 一哉 (看護師) 氏が、以下のとおり院内活動報告会を行いますのでご案内いたします。

日時： 6 月 27 日 (木) 17 時 30 分～

場所： 埼玉県済生会栗橋病院 東館 5 階 講堂 1

<https://www.saikuri.org/access/>

*** 当日は受付へお越しください。**

主催： 埼玉県済生会栗橋病院

国際緊急援助隊は、普段は日本全国の病院等にお勤めされている医師・看護師らを派遣しています。それぞれの所属先のご理解、応援がなければ実現しません。

今回は、埼玉県済生会栗橋病院からこのような国際緊急援助にご協力いただけた理由や吉田氏による現地の映像を使った活動報告を行います。

個別にインタビューを設定することも可能ですので、ぜひ取材をご検討ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

JICA 国際緊急援助隊事務局 関

TEL 03-5226-6497 e-mail : jicadr@jica.go.jp